

八学大アイスホッケー部

プロ選手育成へ 武田新監督意欲

本社訪問「まず人数確保」

本年度から八戸学院大アイスホッケー部監督に就任した武田裕大氏(22)ら関係者が1日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、部の強化に努めながら競技を通して地域を盛り上げていくことを誓った。

武田氏は同市出身で、工大一高→日大卒。FWとしてU16、18、20各世代の日本代表候補に名を連ねたほか、国体の青森県代表などとして活躍。今春から大学職員となり、県実業団リーグでは青い森信金でプレーする予定。

本社には武田氏のほか、八学大の一戸利則学長補佐、岡沼真由美学務部部长が訪れ、荒瀬潔社長らと懇談した。

八学大の部員は現在8人。武田氏は部の強化のために「まずは選手確保が必要。スカウト活動などに力を入れる」と強調。

同市の高校生選手が県外に多く流出している現状にも触れ、「地元の大学でプロを目指すような選手を育成していきたい。青森県内の競技力向上に努めていく」と抱負を語った。
(上村公悟)



抱負を語る八学大アイスホッケー部の武田裕大監督(中央)と一戸利則学長補佐(左)、岡沼真由美学務部部长=1日、デーリー東北新聞社